

<第2学年の実践>

I 生活科学習指導案

平成30年1月24日（水）

1. 単元名 うごくうごく わたしのおもちゃ～「おもちゃ教室」をひらこう～

2. 単元の目標

身近になるものを使って、動くおもちゃを試行錯誤してつくり、友だちと競争したり、工夫を教え合ったりしながら、よりよく動くよう改良することを通して、動くおもちゃの面白さや不思議さを実感するとともに、遊び方を工夫して、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

3. 本時の学習（第3次12時間目）

（1）本時の目標

自分の経験や調べたことをもとに、1年生も一緒に楽しむことができるようなおもちゃや遊び方の工夫を考え、友だちに自分の意見を伝えて話し合うことができる。

（2）展開

時間	主な学習活動と予想される児童の反応（・）	教師の支援（○）と評価（☆）
10	<p>1. どんなおもちゃを作ったか、ふりかえる。</p> <p>2. 本時の学習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1年生に紹介するおもちゃを話し合ってきめよう。</div> <p>3. 話し合いの観点（1年生に楽しんでもらうための約束）を確認する。</p> <p>①あんぜん ②かんたん（ちょっとむずかしいアイデア） ③かちまけなし ④みんなで楽しめる ⑤持ち帰りができる</p> <p>4. 話し合う内容と話し合いの手順を確認する。</p> <p>【話し合うこと】</p> <p>①おもちゃを決める。 ②遊び方とルールを決める。 ③じゅんぴするものを考える。</p>	<p>○話し合いの際に、立ち返ることができるように黒板に掲示する。</p> <p>○2年生として、1年生に楽しんでもらう場であることを意識させる。</p> <p>○前時までに自分の意見と理由、使った本の</p>

<p>20</p>	<p>【話し合いのしかた】</p> <p>①一人ずつ意見とその理由を言う。</p> <p>②聞いている人が質問や感想を伝え、答える。</p> <p>③全員の意見が出たら、どれがよいか決める。</p> <p>5. グループで話し合いをする。 (役割分担：司会、記録1、記録2、発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとあてゲームはどうか。 ・ぱっちゃんガエルでもできるね。 ・輪ゴムを飛ばす遊びが楽しかったよ。 ・ほかにどんな遊びができたかな。 ・本を読んでもう一度遊び方を確認しよう。 	<p>名前をワークシートに書いておく。</p> <p>○一人の意見に絞るだけでなく、よいところを組み合わせたり、知恵を出し合ってよりよくしたりしていくことが必要であることを押さえる。</p> <p>○話し合いやすくするために3～4人組とし、役割分担は、事前に決めておく。</p> <p>○図書館の本を用意し、手にとれるようにしておく。</p> <p>○意見がまとまらないときには、話し合いの観点を確認するよう促す。</p> <p>☆自分の経験や調べたことをもとに、1年生が楽しむことができるようなおもちゃや遊び方の工夫を考え、話し合いをしている。 (発言・行動観察)</p>
<p>8</p>	<p>※10分程度たったところで一旦話し合いをやめ、それぞれのグループの途中経過を知らせる。</p>	<p>○発表には、ホワイトボードを活用する。</p> <p>○教師が書画カメラで、おもちゃの写真やカラーのイラストを映す。</p>
<p>7</p>	<p>6. グループごとに決まったことを発表する。 (おもちゃ、遊び方、準備するもの)</p> <p>7. 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を言うことができたか。 ・友だちの意見をしっかりと聞いて、話し合いをすることができたか。 ・1年生のことを考えて、グループのおもちゃをえらぶことができたか。 	<p>○振り返りは、各項目について、「◎・○・△」で自己評価し、感想を記述式とする。</p>

(3) 本時の評価規準と支援

	十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	努力を要すると判断される児童への支援
活動や体験についての思考・表現	自分の経験や調べたことをもとに、1年生も一緒に楽しむことができるようなおもちゃや遊び方の工夫を考え、友だちの意見を聞きながら積極的に話し合いに参加している。	自分の経験や調べたことをもとに、1年生も一緒に楽しむことができるようなおもちゃや遊び方の工夫を考え、友だちに自分の意見を伝えて話し合っている。	<ul style="list-style-type: none">・個別に声をかけ、児童の想いを整理する。・グループが、その時何を話し合っているかを確認し、伝える。

(4) 研究の視点

児童が主体的に情報収集をするために、学習の場の設定や話し合いで使用するワークシートの内容は有効だったか。